学校法人微妙学園

みみょう幼稚園だより

令和5年12月

http://mimyo.org/youchien/

「みみょうフェスティバル」ありがとうございました

冷たい氷雨降る中でスタートしたフェスティバルでしたが、本当にたくさんの皆さんのご協力のおかげで、一年間の大変貴重な節目とすることができました。

今年の「あそび展」は、日々、どのようにして主体性を育てているのかを具体的に体感していただけるように、体験型の展示と、保育・教育の様子や流れ、その中での子どもたちの育ちを紹介させていただきました。また、段原みみょう保育園と同一会場ということで、混雑を避けるために、しっかりと動線の確保も心がけました。天候の影響もあり、出足はゆっくりでしたが、午後からは園庭で食事もとれるようになり、終盤になるほど、ゲームや製作を楽しむ姿がたくさん見られるようになりました。小学生になった卒園児さんたちが製作に熱中する様子が見られたことも大変嬉しい光景の一つでした。初めての試みもあった今年のフェスティバルでしたが、成果や課題をしっかりと検証し、今後の教育や行事、来年のフェスティバルに生かしていきたいと思います。ご感想もぜひお聞かせください。こうした幼稚園の行事は、保護者の皆さんのご協力があってこそ成り立つものです。これからも、幼稚園と保護者の皆さんと手を携えてこどもたちの成長をしっかりと支えて参りましょう。

ありがとうございました。

今日の一コマ

卒園児のお姉ちゃんもいっしょに製作中。
それぞれの思いが形になっていきます。
（2023.11.18　あそび展より）

【お知らせ】認定こども園移行説明会

11 月 27 日の説明会には、たくさんお出でいただきありがとうございました。理事長の言葉にもありましたように、保護者の皆さんと両輪となって、一人ひとりを大切にした「こども主体の保育」「非認知能力」を高める教育は、今後も変わることはありません。次年度より、それに加えて、0 歳からの受け入れ、開園時間が長くなることや給食提供が週 5 日になるなど、よりパワーアップをしていきます。説明会に参加できなかった方、就労支援について、また、その手続きについてなど、お聞きになりたい方には、個別に対応させていただきますので、遠慮なく事務室にお出で下さい。

◆ みみょう教育メソッド⑦◆

～「対話」の効用～

二学期は、運動会やあそび展など大きな行事に向けて、たくさん話し合いを持ってきました。今も発表会に向けて、様ざまな思いを出し合い始めています。話し合いの形態は、少人数のこともありますし、グループ毎、学年みんなという大人数でするサークルタイムなど様ざまです。子どもと子ども、子どもと先生が、目と目、顔と顔を合わせて、話し合います。当然、話す側と聞く側があるわけですが、そのどちらも、相手を意識しないと成立はしません。話す側は、自分の考えや意見、アイデアが、相手に理解してもらえるように言葉を選びながらつなぎながら伝えていきます。聞いている側は、内容も気持ちも理解するために言葉だけでなく、話している人の表情にも注目します。「聴」という文字通り、目も耳も心も合わせて聴く体験を重ねていきます。話すことによって、考えがまとまったり、不十分な点に気付けたりします。聞くことによって、考えが広がったり、深まったり、同じ考えに嬉しさを覚えたりする経験を皆さんもされてきたことと思います。子どもたちは友だちの話を聞きながら「いっしょ」「思いついた」「もっとある」「こんなのもどうかな」など、たくさんの発見やつぶやきを発します。

まだ発音や言葉数もままならないつくし組の子どもたちも、自分の思いを伝えようと瞳をきらきらさせながら大好きな先生に一生懸命語り掛けています。温かいまなざしでにっこりと受け止める先生の姿に、心も満たされ、次の言葉や思考を広げていきます。対話は子どもたちの成長に欠かすことのできない栄養です。